

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	280 (7) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	安丸 直希				
実務経験とその関連資格	理学療法士として総合病院や介護老人保健施設にて6年勤務。主に内部障害領域における急性期から生活期までのリハビリテーション、がん終末期におけるリハビリテーションに従事。健康科学修士、呼吸認定理学療法士、循環認定理学療法士、3学会合同呼吸療法認定士、心電図検定3級を取得。また、がんリハビリテーション研修会修了。日本理学療法士協会会員、日本心臓リハビリテーション学会会員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員、日本呼吸理学療法学会一般会員、日本循環器理学療法学会一般会員、日本がん・リンパ浮腫理学療法学会一般会員、日本栄養・嚥下理学療法学会一般会員。				
《授業科目における学習内容》					
臨床実習後、学校で1症例についてレジメを作成し、実習報告会にてその成果を発表してもらう。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価、学内報告会					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける。理学療法士として働く事を意識し、自分はどういう職場で働き、どのような理学療法士になりたいかを考えて行動すること。学生として患者様に出来ることを出来る限りできるように、しっかりと事前準備をすること。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	各実習施設において総合実習			
第2回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	学内において、実習成果の発表、および成果の共有			
第3回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第4回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第7回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第8回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			